

糖尿病検査項目自動分析装置 DM-ExIII

【警告】

「ブラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者において、実際の血糖値より高値を示すおそれがあるので、ブラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者における血糖測定値に対する影響について、事前に製造販売業者から情報を入手すること。[ブラリドキシムヨウ化メチルを投与中の患者で、実際の血糖値よりも高値を示すことがあり、その偽高値に基づきインスリン等の血糖降下剤を投与することにより、昏睡等の重篤な低血糖症状があらわれるおそれがある。]」

【形状・構造及び原理等】

1. 構成

本機器の構成は次のとおり。

- 1) 本体
- 2) 外部搬送 (オプション)
- 3) 付属品
- ① 純水タンク
- ② 洗浄液タンク
- ③ 電源ケーブル
- ④ ラック
- ⑤ ポンプボックス

4. 消耗品

- ① プリンターペーパー
- ② インレットフィルター
- ③ アルカリ洗浄液
- ④ メンテナンス洗浄液

※詳細は取扱説明書を参照して下さい。

2. 寸法

寸法：500mm(W)×588mm(D)×703mm(H) (突起部含まず)

重量：65kg

3. 電氣的定格

定格電圧：AC100V±10%

周波数：50/60 Hz

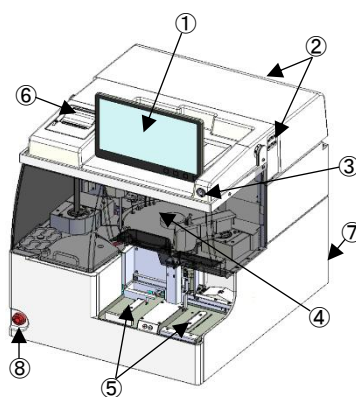
消費電力：720VA 以下

4. 作動・動作原理

検体を反応容器に分注し、試薬と反応させ、測定部で測定された光量の変化により、成分濃度を計測します。

※詳細は取扱説明書を参照して下さい。

5. 外観図



No.	名称
①	表示部
②	外部接続端子
③	電源ボタン
④	分析部
⑤	ラック搬送部
⑥	プリンター
⑦	主電源 (背面)
⑧	緊急停止ボタン

※詳細は取扱説明書を参照して下さい。

【使用目的又は効果】

1. 使用目的

検体中の化学成分を反応容器内で試薬と反応させ、分光光度計で反応混合物の吸光度を自動測定できるように構成された、自動分析装置です。

【使用方法等】

1. 組立・設置の注意

- 1) 本装置の組立および設置は納品時に認定作業者が行うので、お客様は行わないで下さい。
- 2) お客様は本装置の移動を行わないで下さい。移動の場合は販売元へ連絡して下さい。

2. 設置条件

- 1) 装置の重量に耐え得る、剛性の強い設置台に設置して下さい。
- 2) 設置スペースは、左右側面、背面 150mm 以上の隙間を確保して下さい。

3. 使用環境条件

温度：10～33℃ (分析中は±2℃以内の変動)

湿度：10～85%RH (結露なきこと)

※使用する試薬により環境の影響を受ける場合があります。

取扱説明書を必ずご参照下さい

4. 使用方法

1) 測定の準備

- ① 装置の電源を入れます。
- ② 反応セル洗浄をします。
- ③ 試薬等を準備します。

2) 測定開始

- ① キャリブレーター/コントロールをラックにセットし、測定します。
- ② 検体をラックにセットし、測定します。

3) 測定結果の確認

- ① 測定結果を確認します。

4) 測定終了後の処置、操作

- ① メンテナンスを実施します。
- ② 装置の電源を切ります。

※詳細は取扱説明書を参照して下さい。

【使用上の注意】

取扱説明書の各箇所に記載されている注意事項に従って使用して下さい。

1. 重要な基本的注意

- 1) 測定動作中に分析部カバーを開けることは大変危険なため、必ず閉めて使用して下さい。
- 2) ノズルの先端は鋭く尖っていますので、けがや感染に注意して下さい。
- 3) 濡れた手で電源プラグにさわらないで下さい。
- 4) 清掃作業の前には、電源を OFF にしたのち、必ず電源コードのプラグをコンセントから抜いて下さい。
- 5) 万一、異常が発生した場合は、ただちに電源を OFF にして操作を中止し、コンセントから電源コードのプラグを抜いて下さい。

※詳細は取扱説明書を参照して下さい。

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

直射日光、湿度、ほこり、腐食性ガス等により、悪影響の生じる恐れのない場所に保管して下さい。

2. 耐用期間

使用開始(据付)後7年(自己認証(自社データ)による)
保守点検を定期的実施し、点検結果により修理又はオーバーホールが必要であれば実施して下さい。

【保守・点検に係る事項】

1. 使用者による保守点検事項

No.	項目	保守・点検周期
1	反応セル蓋の洗浄	毎週
2	反応セル洗剤洗浄	毎週
3	サンプル側洗浄槽の洗浄	毎週
4	純水タンクのインレットフィルターの交換	毎月
5	純水タンクの清掃	毎月
6	外気導入口エアフィルターの清掃	毎月

※詳細は取扱説明書を参照して下さい。

2. 業者による保守点検事項

装置の性能維持のため、業者による定期的な保守点検が必要です。
本体 約6ヵ月ごと
※点検時に異常が確認された部品は、交換が必要です。

3. 定期交換部品

- 1) 定期交換部品は下記の周期で交換を行います。
※但し、使用の頻度により異なります。

No.	項目	交換周期目安
1	光源ランプ	6ヵ月
2	サンプルノズル	6ヵ月
3	インレットフィルター	6ヵ月
4	ヌグイパッド	6ヵ月
5	洗浄槽廃液ポンプ	6ヵ月
6	洗剤ポンプ	1年
7	ヌグイパッドポンプ	1年
8	洗浄ユニットチューブ	1年
9	ポンプボックス	2年
10	セル洗浄ポンプ	3年
11	サンプルノズル内洗浄ポンプ	3年

- 2) 定期交換部品の交換には専門技術が必要であり、サービスエンジニアが行います。
※詳細はサービスマニュアルを参照して下さい。

4. 保守部品保有期間

据付後10年間
※但し、製造あるいは調達不可能な部品が発生する場合は、予め対応について連絡します。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

〔製造販売業者〕

キヤノンメディカルダイアグノスティックス株式会社

〔製造業者〕

株式会社サカエ

〔連絡先〕

キヤノンメディカルダイアグノスティックス株式会社 富士工場
サービス部門
静岡県駿東郡長泉町南一色600-1
電話：0120-00-9474

取扱説明書を必ずご参照下さい